

製品名: RBCK1 (UBCE7IP3) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86098**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	57.6kDa

抗原情報

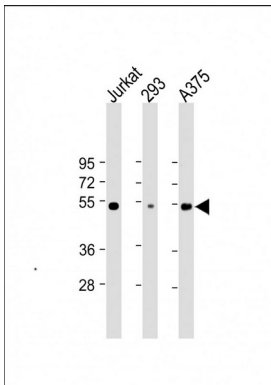
遺伝子名	RBCK1 (UBCE7IP3)
別名	RanBP-type and C3HC4-type zinc finger-containing protein 1, 6.3.2.-, HBV-associated factor 4, Heme-oxidized IRP2 ubiquitin ligase 1, HOIL-1, Hepatitis B virus X-associated protein 4, RING finger protein 54, Ubiquitin-conjugating enzyme 7-interacting protein 3, RBCK1, C20orf18, RNF54, UBCE7IP3, XAP3, XAP4
遺伝子 ID	10616.0
SwissProt ID	Q9BYM8
免疫原	この RBCK1 (UBCE7IP3) 抗体は、ヒト RBCK1 (UBCE7IP3) の組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

背景

E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼは、UBE2L3/UBCM4 などの特定の E2 ユビキチン結合酵素からユビキチンを受け取り、基質へ転移します。酸化 IREB2 の E3 リガーゼとして機能し、IREB2 のユビキチン化にはヘムと酸素の両方が必要です。TAB2 と IRF3 のユビキチン化とプロテアソームによる分解を促進します。LUBAC 複合体の構成要素であり、直鎖状（「Met-1」結合）ポリユビキチン鎖を基質に結合させ、NF- κ B の活性化と炎症の調節に重要な役割を果たします。LUBAC は直鎖状ポリユビキチンを IKBKG と RIPK1 に結合させ、標準的な NF- κ B と JNK シグナル伝達経路の活性化に関与します。LUBAC 複合体を介した直鎖状ユビキチン化は、TNF 誘導性細胞死を阻害し、炎症を抑制します。LUBAC は、BIRC2 および / または BIRC3 による TNF-R1 シグナル伝達複合体 (TNF-RSC) 構成因子のポリユビキチン化に続いて TNF-R1 シグナル伝達複合体 (TNF-RSC) にリクルートされ、直鎖状ポリユビキチンを IKBKG および複合体の安定性に寄与する他の構成因子と結合させると考えられています。LUBAC 複合体は、FAM105B/オツリンと共に、血管新生における標準的な Wnt シグナル伝達を制御します。様々な結合型のポリユビキチンに結合します。

研究分野

画像データ



全レーン：抗 RBCK1 (UBCE7IP3) 抗体 (1:2000 希釈)